

TREND WATCHING PARTS

センターロック風(モドキ)じゃないよ。正真正銘のセンターロックだよ!!

ACLOSE SPORTS Z1-R登場!

まさか、センターロックが何だか知らないヤツはいないと思うけど、一応説明をくれておこう。センターロックとはホイールのナットが1個しかないホイールのことなのだ。TVでF1見てると6~7秒でタイヤ交換しちゃうでしょ、あんな短時間でできるのもセンターロックのおかげなのだ。

と、いうわけでタイヤ交換の時間短縮がセンターロック式の最大のメリットなんだけど、どうしてそんなものがストリートに必要なんだろう?

それはズバリ「カッコイイ」から!

モナとかポルク・グループCは、一見センターロックだけどアレは単なるセンターロック風カバーが付いているイミテーションで、カバーの中はちゃんと4つか5つのナットで締めつけられている。

ACLOSE SPORTS Z1-Rは、そんなイミテーションではなく、本物のセンターロック。その仕組みは、ハブに専用のカバーを取り付けてセンターロックにするわけだ。(イラスト参照)



専用ハブ本体がホイールの内側にぴったりフィットするように設計されているので「センターが出ない」なんてことはない。さらにナットが緩んでホイールが取れないように(センターロックはそれが一番怖い)ロック機構として逆ネジを切ったスクリューを使うなど工夫がいっぱい。うまく考えられているなあ。



Z1-Rは専用センターロックハブ、先売はAMコーポレーションから。

このホイールの偉いところは、それだけじゃないゾ。ナント、センターロックハブの内側に入れるシムの厚さを変えることによりオフセットを変更できるのだ。シムは標準厚が1枚ついているけど、その他にも別売りで4・6・8・10mmのシムが用意されている。この範囲でオフセットが調整できるのだ。

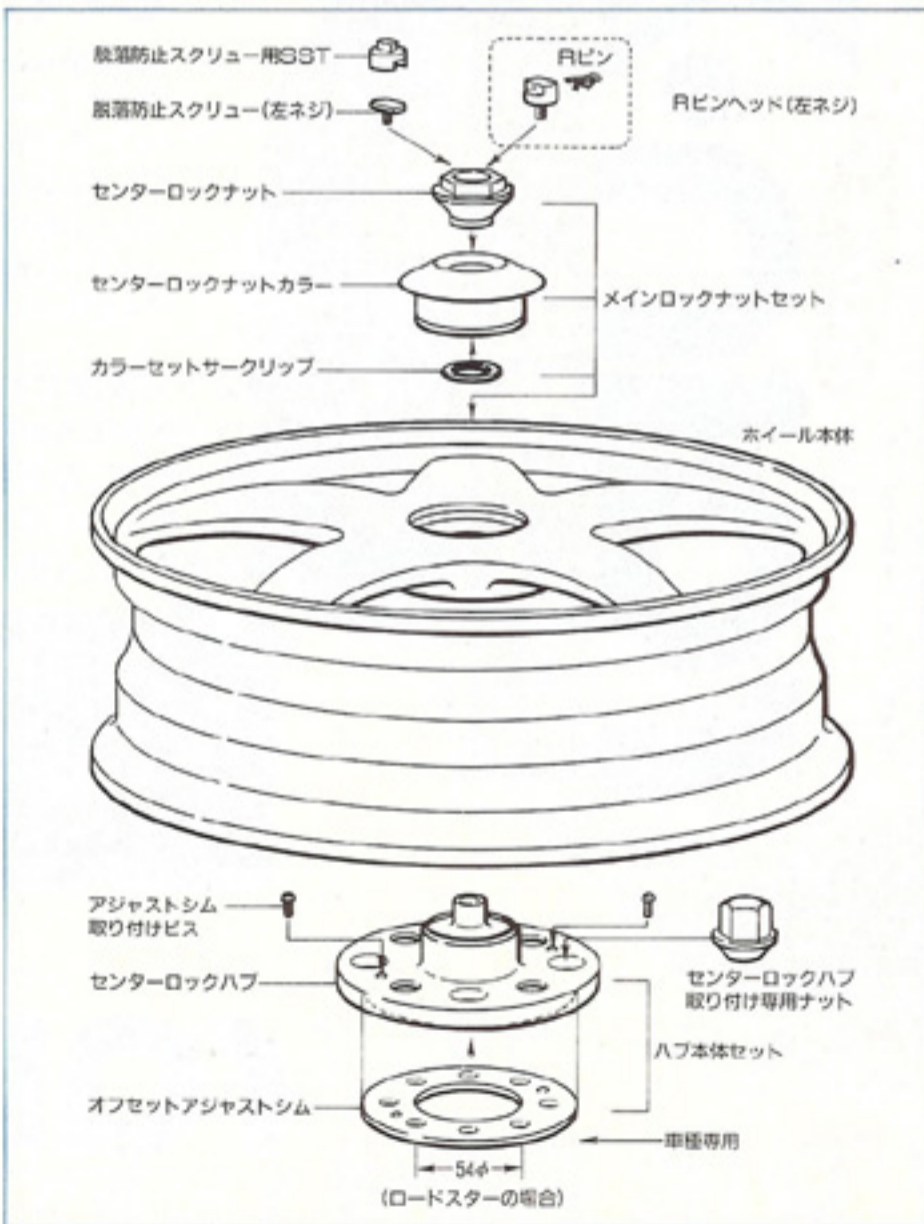
これまでもホイールの内側にスペーサーを入れて変更する方法はあったけど、4穴5穴共用スペーサーはガタガタなのでハブの回転バランスがでにくかったりする。

Z1-Rのオフセットアジャストシムは、ビスでハブに固定するからそんな心配は皆無だ。

このホイールのシステムは、ハヤシレーシングとトライアルが2年前から共同でテストを続けてきたもので、7月1日にやっとリリース開始だ。最初にリリースされるサイズは6J-14オフセット+25(ユースロードスター用 予価4万8000円)から始まり、その後約3週間おきにサイズが追加される予定だ。

カラーも写真のブルーだけでなくシルバー、ガンメタ、ホワイト、イエロー、レッド、グリーンの7色が用意されている。

開発に携わってきたマッキー牧原さんは「オフセットを変更することでセッティングの幅が広がるから、ただモノを売るだけでなくショップのノウハウを盛り込むことができる。つまりショップの技術力が問われるホイール」と語る。ネ、カッコイイでしょ!?



Z1-Rのシステムは世界5ヵ国(日本、アメリカ、イタリア、ドイツ、イギリス、中国)で特許を取っている。